

令和7年度 第3回函館高等支援学校 学校運営協議会 記録

出席者 中村圭吾様、青田基様、小林裕司様、有川祐樹様、喜久川三希子様、山崎敏昭様、川井博光様、岩井丈様、須摩直樹様、相原香織様、吉田尚美様、松田主査
近藤校長、西田教頭、事務長、蛭沢

欠席者 細谷一博様

1 日時 令和8年2月20日（金） 14時00分から15時20分まで

2 会場 北海道函館高等支援学校 1階会議室

3 本日の予定

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 地域学校協働活動（HKS サポートーズ）の活動について【吉田 CO】
- (4) 後期の学校の様子と学校評価について【教頭】（別紙）
- (5) 次年度の学校経営方針について【校長】（別紙）
- (6) その他

記録

(1) 会長挨拶

会長 中村様より

HKS サポートーズのシーニック de ナイトのボランティア活動お疲れ様でした。
地域側としてもこれからいくつかの研修を計画している。学びの場を活用していきたい。

(2) 校長挨拶

本日は今年度のまとめ、次年度への繋ぎとなる会である。よろしくお願いします。

(3) 今年度の HKS サポートーズの取組について（別紙にて説明）

【補足】

- ・ 予算のない団体である。学校祭では有志によるバザーを行った。イオンの黄色いレシートの募金申し込みを行い、3月11日から開始となる（毎月11日、イオン上磯店）。安心メール等で発信したい。
- ・ 12月に行った研修会についても次につながる活動を行っていきたい。

(4) 後期の学校の様子と学校評価について（別紙にて説明）

【質問】

- ・ 生徒アンケートについて、評価が低い部分について改善していきたいということであったが、回答者の特定はできるのか？
- 生徒の悩み等については、スクールカウンセラーや Co との相談可能なポストを活用してお

り、保護者とも連携できるようにしている。

【補足】

- ・カフェは予算の関係で毎回ランチの提供ができるわけではないが、パンのイートインなど行い、お客様には御理解いただいている。今年度あと2回予定している。地域でのミニ喫茶的な活動も行うことができている。
- ・SNS や性に関する問題については、学校でも取り組んでいくが、保護者との協力も欠かせない。3年生の卒業単元ではウィメンズクリニックのDr.による具体的な話を聞く機会をもつなどしている。
- ・入選は1次が終了し、2次募集中である。今年度は定員の40名の入学生であったが、次年度は例年通りくらいになる見込みである。

(5) 来年度の学校経営方針について（別紙にて説明）

【補足】

- ・前回の提示から文言の整理のみ行っている。

★学校運営協議会として承認

(6) その他

- 学校評価を見て、学校がどんどん良くなっていると感じる。CSについては全道でも上位の活動であると思うが、教職員アンケートを見ると、評価は半々となっている。教職員にもCSについて御理解いただき、HKS サポートズを活用してほしい。どうすれば先生方の働き方、生徒の学びにつながられるかアイデアを出し合えると良い。
- 先日、業種別就労支援に関する情報交換会があったが、地域、事業所にとっても有益であった。関わってみて初めて分かることがあり、先生方の研修会に参加させてもらったり、熟議で思いを交換し合ったりしながら課題のすり合わせができると良い。将来的には、小中学校の障がいを持った子の親とも交流の機会をもち、地域に発信できると良い。
- 長期休みに学校と中学校の保護者で茶話会をしても良い。そこから、夜の熟議等への参加へつながることも考えられる。地域のサポートも知ることができる。
- サポートズでも、福祉事業所との茶話会を行いたい。進路とも一緒にできたらよい。→そこを学校ではなく、サポートズ主導で進められると良い。
- 就職率などの数字も大事だが、実態差も考慮する必要がある。長く働き続けるために、現場と保護者で話す機会が必要である。
- 学校見学会、オープンスクールのような場で一室、お話のできるようなところを設定できると良い。

校長

教職員の研修日に学校運営協議会のメンバーが入って先生方と話すなど、もっと自由に研究、研修を行えると良い。この場で話したことをどのように職員に伝えていくか考えなくてはいけない。学校運営協議会に教員が参加することも考えられる。